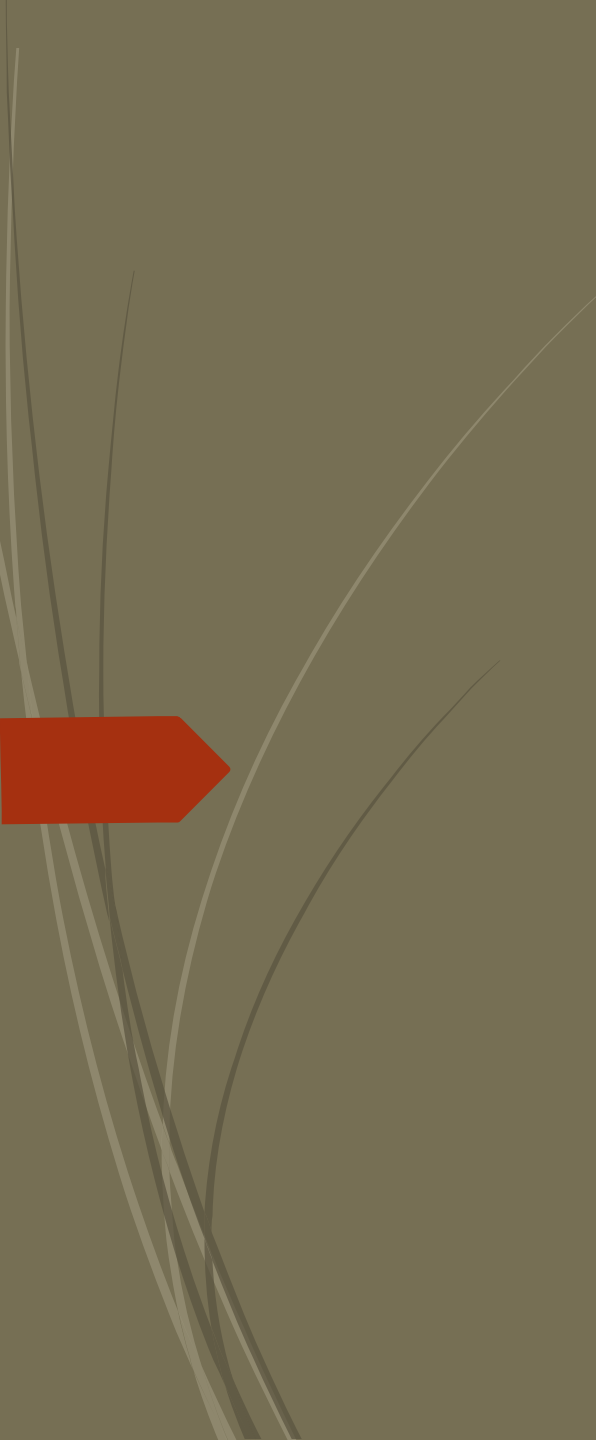




令和5年度（2023年度） 豊中市文化芸術推進基本計画に 基づく施策実施状況（案）

令和6年（2024年）8月

豊中市都市活力部魅力文化創造課



目次

■ I	文化芸術推進基本計画の概要	3
■ II	推進プログラムに基づく取組みの実施状況	
	1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進	5
	2 人材の育成と文化芸術活動の支援	8
	3 音楽あふれるまちづくりの推進	11
	4 地域資源の活用と発信	13
	5 文化芸術環境の充実	15
	重点プロジェクト	18
	(参考) 豊中市の取組みにおいて対象とする人々	21
■ III	各事業のWEBページ紹介	23

I 文化芸術推進基本計画の概要

人と文化をはぐくむ創造性あふれるまちをめざして

策定の趣旨

- 豊中市文化芸術推進基本計画は、豊中市文化芸術振興条例に基づき、今後の文化芸術振興施策の総合的な推進を図るために策定したものです。
- 計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和9年度（2027年度）までの7年間です。
- 同条例に掲げる「人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち」をめざして、さまざまな文化芸術振興の取組みを進めています。

基本理念

- 自主性及び創造性の十分な尊重
- 文化芸術を鑑賞、参加、創造するための環境の整備
- さまざまな協働による新しい豊中の文化芸術の創造
- 過去からの文化芸術の継承と発展
- 一人ひとりの多様な文化芸術及び価値観の理解と尊重

具体的な推進プログラム

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

- 文化芸術創造都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進
- 文化芸術による都市魅力の創造

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

- 次代を見通した人材の育成
- 文化芸術活動の支援

3 音楽あふれるまちづくりの推進

- 音楽事業の一層の推進

4 地域資源の活用と発信

- 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

5 文化芸術環境の充実

- 文化芸術に触れる機会の充実

重点プロジェクト

- 南部地域活性化の取組み
- 次代を担う子どもの創造力を育む取組み

II 推進プログラムに基づく取組みの実施状況

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

取組み項目

- ➡ (1) 文化芸術推進都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進
- ➡ (2) 文化芸術による都市魅力の創造

指標（別表参照）

- ➡ 事業ごとの連携分野数
- ➡ 市民意識調査「今後も豊中市に住み続けたいと思う理由」に対する「まちに愛着を感じるから」の割合
- ➡ 事業参加者数

実施状況

- ➡ 文化芸術の力を活かして、福祉や教育など他分野と連携し、地域の活性化や社会包摂、魅力創造に取り組みました。
- ➡ (1) 世界のしょうない音楽祭、こども園へのアーティスト派遣事業、障害者授産施設で作られる「授産製品」の魅力向上を目的としたデザインワークショップを実施しました。
- ➡ (2) 豊中まつりやとよなか音楽月間事業、就航都市との交流のほか、兄弟都市沖縄市との人事交流を開始し、10月には姉妹都市サンマテオ市との60周年記念事業を実施しました。

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(1) 文化芸術推進都市として、他分野との連携・横断による地域活性化への取組みを推進

主な取組み	令和5年度実績
世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭	シタール、ガムランなどのアジアの楽器やヴィオラやコントラバスなどの洋楽器など、さまざまな弦楽器や打楽器などを体験する6回のワークショップにより、オリジナル楽曲を作成し、音楽祭で披露しました（参加者数のべ290人）。
こども園アーティスト派遣事業	アートの力を活用し、未就学児の非認知能力の形成を促すことを目的として美術アーティストを市立野田こども園に派遣し、保育の日常の中でのアート活動を行いました。年長クラスを対象に絵具作りなど全10回のプログラムを実施しました。
障害者や高齢者等に対する文化芸術に関する取組み	障害者施設「授産製品」魅力UPプロジェクトとして、アートを活かしたデザインワークショップを実施。市内の事業所一か所を対象とし、製品のデザインを通じて、京都芸術大学のこども芸術学科こども芸術コースの学生にアドバイスをいただくなど、学生との交流も行いました。

1 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

(2) 文化芸術による都市魅力の創造

主な取組み	令和5年度実績
豊中まつり	8月に豊島公園で開催。豊中や沖縄の音楽アーティストによる演奏や市民活動団体の活動発表などを行いました（来場者のべ約173,000人、web閲覧者19,637件）。
就航都市文化交流事業	都市間交流として、文化芸術センター中ホールで、山形市を拠点とする山形交響楽団と日本センチュリー交響楽団の合同アンサンブルコンサートを行い、268人が鑑賞しました。
とよなか音楽月間事業	まちなかクラシックをはじめ、市内各所でさまざまな音楽イベントを実施。令和5年度は64のイベントに、のべ19,370人が参加しました。
都市間交流事業（兄弟都市・姉妹都市交流）	沖縄市とは、豊中まつりや沖縄市産業まつりなどで交流を行ったほか、令和6年度の兄弟都市提携50周年に向けて、豊中市と沖縄市の職員を相互派遣する人事交流を開始しました。また、サンマテオ市とは、姉妹都市提携60周年を迎え、記念式典やレッドウッド植樹式、少年野球親善交流を実施するなど、訪問団40名と交流を行いました。

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

取組み項目

- ➡ (1) 次代を見通した人材の育成
- ➡ (2) 文化芸術活動の支援

指標（別表参照）

- ➡ 各事業の参加人数及び来場者数
- ➡ 各事業の参加校数

実施状況

- ➡ 子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実や、文化芸術活動の担い手となる市民・市民団体への助成などに取り組みました。
- ➡ (1) ホールでオーケストラ♪や豊中市市民ホール等指定管理者によるアウトリーチ事業、保育施設へのアーティスト派遣事業を実施しました。
- ➡ (2) 令和5年度の豊中市文化芸術振興助成金事業において、13団体から応募があり、11団体に助成金を交付しました。

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

(1) 次代を見通した人材の育成

主な取組み	令和5年度実績
舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ♪」 (小学生・中学生)	小・中学生が、文化芸術センター大ホールで日本センチュリー交響楽団によるオーケストラコンサートを鑑賞する事業。(参加校数は中学校12校、小学校36校)。令和5年度は小学生の部で合唱を取り入れ、ステージと会場が一体となり音楽を楽しみました。アンケートでは、「興味が無かったが、演奏を聴いて音楽の魅力を知った」「指揮者体験が楽しかった」「感動した生徒も多く、普段なかなか味わえない時間となった」など評価をいただいています。
豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業 (指定管理者事業)	若手音楽家を公募し、2年にわたる研修等によりレジデントアーティストとして育成し、小学校の音楽の授業等に派遣する事業。9人のレジデントアーティストを、11校に計91回派遣しました。
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業【1の(1)参照】

2 人材の育成と文化芸術活動の支援

(2) 文化芸術活動の支援

主な取組み	令和5年度実績
文化芸術振興助成金制度	文化芸術活動に対する公募の助成制度。助成対象は、①子どもが文化芸術活動に参加する機会・環境の充実を図る事業と、②文化芸術の新たな魅力や価値の発見をめざす事業です。令和5年度は、13件の応募のうち11件を助成対象とし、①4件・計1,270,000円、②7件・計2,696,000円の助成金を交付しました。
文化芸術活動報奨金	文化芸術分野の全国大会等に参加するなど顕著な成果を収めた個人や団体に報奨金を支給する制度。令和5年度は、個人3件、団体3件に支給しました。
市内学校への支援、中学生クラブ活動支援	市内の小・中学校、高校、大学が行う文化芸術活動や、文化芸術分野で優秀な成績を収めた中学校クラブ活動に対する、文化芸術センターの利用料金の減免制度。令和5年度は、15校が利用。

3 音楽あふれるまちづくりの推進

取組み項目

- ➡ (1) 音楽事業の一層の推進

指標（別表参照）

- ➡ 音楽関連事業の来場者数
- ➡ 音楽関連事業の参加校数
- ➡ 音楽関連事業の満足度

実施状況

- ➡ 音楽大学やプロの交響楽団が本拠を構え、市民の音楽人材も豊富な本市の特性を活かし、音楽によるまちづくりの取組みを実施しました。
- ➡ 市内の寺院や教会等の歴史的建造物を会場に、プロの演奏家による多彩なアンサンブルを楽しむまちなかクラシックを実施しました。
- ➡ 5月にピアノペイントイベントを行い、二代目とよなかピアノ宙が完成しました。また、7月には西村由紀江氏をお招きし、お披露目コンサートを実施しました。初代に引き続き「アート」と「音楽」の両方に触れていただくために、今後も市内各所を巡回していく予定です。

3 音楽あふれるまちづくりの推進

(1) 音楽事業の一層の推進

主な取組み	令和5年度実績
豊中音楽コンクール	人材の発掘・育成をめざして、高校生等がコンクールに挑戦する機会として、大阪音楽大学と連携して実施。秋には受賞者による記念コンサートを実施しました（応募者数213人）。
豊中まちなかクラシック	市内の寺院や教会など7会場で、日本センチュリー交響楽団員によるアンサンブル8公演を開催（参加者数のべ538人）。
ストリートピアノ・プロジェクト	ストリートピアノ3台を公共施設や駅、商業施設などに巡回・設置し、豊中ゆかりのピアニスト等によるコンサート（16回・参加者1,443人）やインスタグラムでの動画配信（7件、総再生回数：12,171回【令和6年8月30日現在】）を行いました。
小・中学生舞台芸術体験事業【再掲】	小・中学生が、文化芸術センターでオーケストラコンサートを鑑賞する事業。【2の（1）参照】

4 地域資源の活用と発信

取組み項目

- (1) 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

指標（別表参照）

- 市所蔵美術品を活用した事業の来場者数
- 博物・文化財などを活用した事業の実施回数

実施状況

- 市内で活動する文化芸術活動団体等との連携による取組みを実施しました。
- 大阪大学総合学術博物館と連携して、所蔵作品の展示や作品解説などを行いました。
- 歴史・文化財の資料を保管・整理・調査・研究、展示公開する施設「郷土資料館」で、開館1周年事業や指定文化財の一般公開を実施したほか、史跡散策事業や市内の学校からの社会科見学受け入れを行いました。

4 地域資源の活用と発信

(1) 美術・文化財等の地域資源の活用・発信の充実

主な取組み	令和5年度実績
文化芸術祭・市美術展	豊中市文化芸術連盟に加入する市内の文化芸術活動団体との共催により、文化芸術祭(来場者数1,196人)と、公募美術展(応募391人・入選301人、展示来場者のべ3,057人)を実施しました。
美術作品展	20人のアーティストが、長野県の伊那谷からインスピレーションを受けて制作した作品を中心とした「美術と風土ーアーティストが触れた伊那谷展」を開催しました(展示のべ1,137人、トークイベント60人、ワークショップ14人が来場)。
大阪大学総合学術博物館企画展	大阪大学総合学術博物館に寄託している市所蔵作品を活用し、文化芸術センターと中之島芸術センターで「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ～花鳥画の名品から俳画の珍品まで～」を実施しました(ミュージアムレクチャーのべ58人、ギャラリートークのべ33人が参加)。
歴史や文化財資料の公開・活用事業	郷土資料館開館1周年イベントとして「庄内式土器」をテーマにした特別展や大阪大学との連携による記念講演会を実施し、愛称募集により「とよみゅー」という愛称を決定しました。また、企画展示や展示解説、学校など団体見学の受入れなどを実施しました(来館者のべ5,636人)。

5 文化芸術環境の充実

取組み項目

- (1) 文化芸術に触れる機会の充実
- (2) 文化芸術活動のための環境整備

指標（別表参照）

- 市民ホール等指定管理者自主事業件数
- アウトリーチ事業参加校数
- 市民ホール等設備満足度

実施状況

- 豊中市市民ホール等（文化芸術センター、ローズ文化ホール、文化芸術センター等駐車場、伝統芸能館、市民ギャラリー）の指定管理期間が2期目・3年目となりました。また、選定評価委員会による中間評価を行いました。
- (1) 「豊中ならではの」の事業を意識して事業展開しており、特に「とよなかARTSワゴン」等の人材育成事業は、市にとっても重要な事業となっています。
- (2) ローズ文化ホールの令和7年3月17日からの開館アナウンスを行いました。
- (2) 文化芸術センター中ホール（旧アクア文化ホール）の令和7年4月～8月にかけての工事に向け、設計を行い、休館のアナウンスを行いました。

5 文化芸術環境の充実

(1) 文化芸術に触れる機会の充実

主な取組み	令和5年度実績
文化芸術鑑賞事業 (指定管理者事業)	文化芸術センターなどの文化施設で、音楽や舞踊、古典芸能、メディア芸術などさまざまなジャンルの質の高い鑑賞事業を実施。日本センチュリー交響楽団による「豊中名曲シリーズ（Vol.26～29）」などの例年の公演だけでなく、市民ホール等が新作制作を手掛ける初の音楽劇「Play is Pray」を上演するなどしました。（鑑賞事業実施数52件、参加者数のべ27,052人）
普及育成事業 (指定管理者事業)	市民ホール等では豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業【2の（1）参照】やアートマネジメント講座などを通して人材育成を行っています。大阪音楽大学との連携事業や、針山愛美さんのダンスプロジェクトなどもこれにあたります（普及育成事業実施件数28件、参加者数のべ4,073人）。
文化芸術振興助成金制度【再掲】	文化芸術活動に対する公募の助成制度。【2の（2）参照】

5 文化芸術環境の充実

(2) 文化芸術活動のための環境整備

主な取組み	令和5年度実績
ローズ文化ホールの大規模改修	令和6年1月30日よりローズ文化ホールを閉館し、大規模改修しておりますが、令和7年3月17日（月）より開館する予定です。
文化芸術センター中ホール（旧アクア文化ホール）の改修設計	文化芸術センター中ホールを令和7年に改修する予定で、令和7年4月～8月の期間を閉館とするアナウンスを行いました。吊物設備および屋根の改修を行います。
文化芸術センター等の文化施設の整備・修繕等	コミュニケーションロビー床の改修工事やホワイエ雨漏りによる天井腐食の防水工事のほか、各施設の空調・舞台関連設備の修繕などを行いました。

重点プロジェクト

取組み項目

- ➡ (1) 南部地域活性化の取組み
- ➡ (2) 次代を担う子どもの創造力を育む取組み

指標（別表参照）

- ➡ 市民意識調査「豊中市は文化的なまちだと思いますか」に対する南部地域の「思う」「どちらかといえば思う」の割合
- ➡ 南部地域での事業実施件数
- ➡ 取組み事業件数

実施状況

- ➡ 推進プログラムのうち、重点的、横断的に取組むものについて「重点プロジェクト」に位置付けて推進しています。
- ➡ それぞれの推進プログラムの実施にあたっては、南部地域を対象として実施すること、また、子どもたちを対象に、音楽や美術などの文化芸術に触れる機会を通じて創造力を育むことに重点を置き、既存の事業も活用しながら取り組みました。

重点プロジェクト

(1) 南部地域活性化の取組み

主な取組み	令和5年度実績
世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭【再掲】	さまざまな弦楽器や打楽器などを体験する6回のワークショップにより、オリジナル楽曲を作成し、音楽祭で披露。 【1の(1)参照】
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園（南部地域の野田こども園）にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業。 【1の(1)参照】

重点プロジェクト

(2) 次代を担う子どもの創造力を育む取組み

主な取組み	令和5年度実績
小・中学生舞台芸術体験事業【再掲】	小・中学生が、文化芸術センターでオーケストラコンサートを鑑賞する事業。【2の(1)参照】
こども園アーティスト派遣事業【再掲】	こども園にアーティストを派遣し、子どもたちが美術プログラムを体験する事業【1の(1)参照】
豊中ARTSワゴン・アウトリーチ事業 (指定管理者事業) 【再掲】	若手音楽家をレジデントアーティストとして育成し、小学校の音楽の授業等に派遣する事業。【2の(1)参照】

(参考) 豊中市の取組みにおいて対象とする人々

豊中市では、年齢や障害の有無、経済的な状況等にかかわらず、あらゆる市民が文化芸術の機会を享受できるよう、文化芸術に触れられる機会の充実を図っています。

- ①「文化芸術に触れるきっかけづくりの取組み」 [みる／きく]
…文化芸術に触れる機会を創出し多くの人々を対象
- ②「文化芸術をより楽しむための取組み」 [する／みる／きく]
…日ごろから趣味や部活動などで文化芸術活動を行う人々を対象
- ③「文化芸術をさらに深めるための取組み」 [する]
…部活動で優秀な成績を収める学生や文化芸術のプロのアーティストを対象

豊中市の取組みにおいて対象とする人々【図表及び事業例】

①文化芸術に触れるきっかけづくりの取組み [みる／きく]

- 小学校アウトリーチ事業「ふれアート」
- 舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ♪」
- 市民ホール鑑賞事業の障害者や子ども料金設定
- こどもアートの日
- サウンドスクール
- 子ども園アーティスト派遣事業
- 子ども文化財教室等の講座・学習事業 など

②文化芸術をより楽しむための取組み [する／みる／きく]

- 市内学校への支援、中学生クラブ活動支援
- 世界のしょうない音楽ワークショップ／音楽祭
- 高校生軽音楽フェスティバル
- 豊中市文化芸術祭
- 豊中市民第九演奏会
- 豊中市美術展 など

③文化芸術をさらに深めるための取組み [する]

- 音楽コンクール
- 文化芸術活動報奨金制度

III 各事業のWEBページ紹介

市HPの下記リンクにおいて、豊中市の文化芸術振興に関する内容をまとめたページを作成しております。

前述のイベントや事業の内容について、各ページにてご確認ください。

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/bunka/index.html

